

未来会議 × SDGs × Minecraft

～地域住民との「対話」を通し、世界ごとを自分ごとに
持続可能な“まちづくり”へ中学生の挑戦～



プロジェクトの目的

地域住民との「対話」（未来会議）を通し、SDGsの視点から東大和市の地域の魅力や課題を再確認しMinecraftで持続可能なまちづくりをシミュレーションし教育長に提案する。

11 住み続けられる
まちづくりを





東大和市公式キャラクター

**それでは、プロジェクトの内容を見て
みましょう！**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



①SDGsについて学ぶ

1時間目は、SDGsが17の目標で成り立っていることや「誰一人取り残さない」ことをスローガンにしているなどSDGsについての基本的なことを学びました。また飢餓で苦しむ人々がいたり、学校に行けない子供達がたくさんいるなど、世界にある様々な問題について学びました。

(★取り上げたSDGsの課題と原因)





②モノはどこから来ているの？



2時間目は、日本が途上国から輸入しているものをカードゲームを通して学びました。日本がいかにより多くの国からの輸入に頼り、成り立っているのかを知って驚きました。世界の国々は、お互いに支え合っていることを学ぶことができました。輸入がなくなったらどうなるのだろう。

(★根拠とデータを集める)



③青年海外協力隊・JICA研修員による授業



3時間目は、発展途上国の生活体験や食文化の違い、水が貴重なものであることなどについて青年海外協力隊・JICA研修員の方が話してくれました。これらの内容は、主にSDGsの1番から6番に関する内容につながる事です。私たちの生活が世界の当たり前でないことを学びました。(★根拠とデータを集める)

衣服ロス



年間10億着

現地産業崩壊



④本当に変わるべきは先進国？

4時間目は、青年海外協力隊の経験をもつ先生から衣服ロスのお話を聞いて驚きました。先進国から途上国に送られてくる大量の安価な衣服によって、現地の服屋の売り上げ大打撃を受け、貧困を生んでいます。良かれと思ってやっていたことが、逆効果なケースもたくさんあるので、まずは私たちの考え方や行動を変えていく必要があると思いました。またダイヤモンドランキングを実施し、私たちの生活で優先的に解決できるSDGsについて話し合い、ランキングをつけました。 **(★取り上げたSDGsの課題と原因)**





⑤東大和市役所員による出前講座



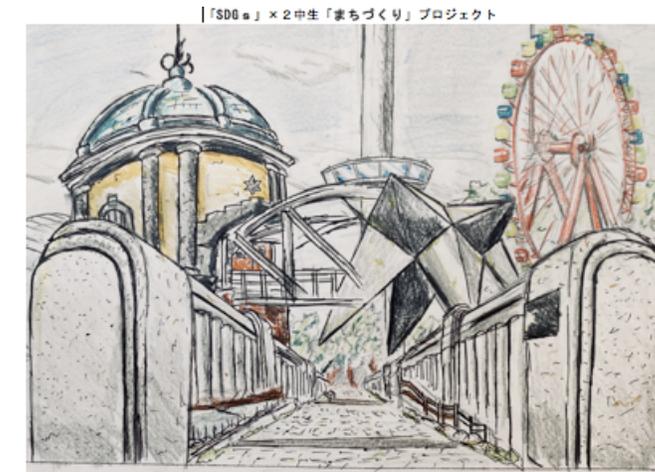
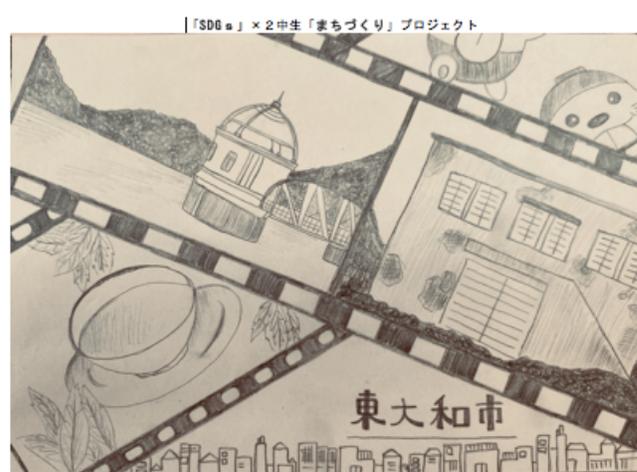
5・6時間目は、東大和市役所のゴミ対策課と高齢対策課の方からのお話をいただきました。この講座のねらいは、自分たちの地域ではSDGsに関するどんな取り組みをしているのかを知るためです。講座ではゴミの処理にかかる費用や認知症についてなどSDGsに関わるリアルな話を教えていただき勉強になりました。(★根拠とデータを集める)



⑥未来会議 with ヒガシヤマト未来大学



7・8時間目は、地域団体「ヒガシヤマト未来大学」の方々を招待し、ワールドカフェ形式で東大和の「魅力と課題」について話し合い、各グループで発表しました。子供だけでは気がつかなかったことを地域で実際に活動する方々に教えていただけて良かったです。SDGsの視点で地域をみると、私たちにできることはたくさんあるかもしれません。 (★根拠とデータを集める)



未来会議 in 東大和
「未来のあたりまえをつくる」
 10月31日(土) 9:50~11:40
 【講師】東大和の地域住民の方々(どなたでも参加可能)
 【会場】東大和第二中学校 3階の1年生教室
 【主催】東大和第二中学校 1年生

未来会議 in 東大和
「未来のあたりまえをつくる」
 10月31日(土) 9:50~11:40
 【講師】東大和の地域住民の方々(どなたでも参加可能)
 【会場】東大和第二中学校 3階の1年生教室
 【主催】東大和第二中学校 1年生

未来会議の広告チラシを作成しました

⑦未来会議 in 東大和



9・10時間目は、生徒が自分達で地域の方々に「未来会議」の招待状を渡し、学校へ来てもらい、地域の方々と一緒に東大和市の魅力と課題、未来について話し合いました。どの班も一生懸命に意見を出しあっていて、有意義な時間を過ごすことができました。SDGsを東大和にどのように取り入れるか考えることができました。(★根拠とデータを集める)



⑧Minecraft の基礎を学ぶ



11・12・13時間目は、今まで学習したSDGsを活かして、Minecraftで「SDGsが達成された東大和を作ろう」というテーマで授業するための準備としてMinecraft基礎講座を実施しました。MinecraftとSDGsに詳しい高校生や小学校の先生から講義をしてもらいました。

(★アクションプラン実行のために必要なこと)



⑨Minecraft で仮想東大和を作る



14～25時間目までは、Minecraftを活用して「**SDGsが達成された東大和を作ろう**」というテーマで授業をしました。どの班も学習成果を生かしながら様々なアイデアを出し合って「未来の東大和市」を作りました。（★アクションプラン実行のために必要なこと）



⑩発表準備とクラス発表



26～30時間目は、Minecraftで作った「SDGsが達成された東大和市」の発表準備をし31・32時間目で各クラスで発表をしました。各クラスから1班を投票によって優秀班として選び、学年発表で発表する班としました。 **(★解決のために私たちができるアクション)**



⑪ 学年発表



33・34時間目は、各クラスで1位と2位を決め、全8チームによる学年発表を実施。Minecraftで作った「SDGsが達成された東大和市」を発表をしました。校長先生や他学年の先生方にも高評をいただき、1位から3位を投票で決定し、教育長に発表する版画決まりました。**(★解決のために私たちができるアクション)**

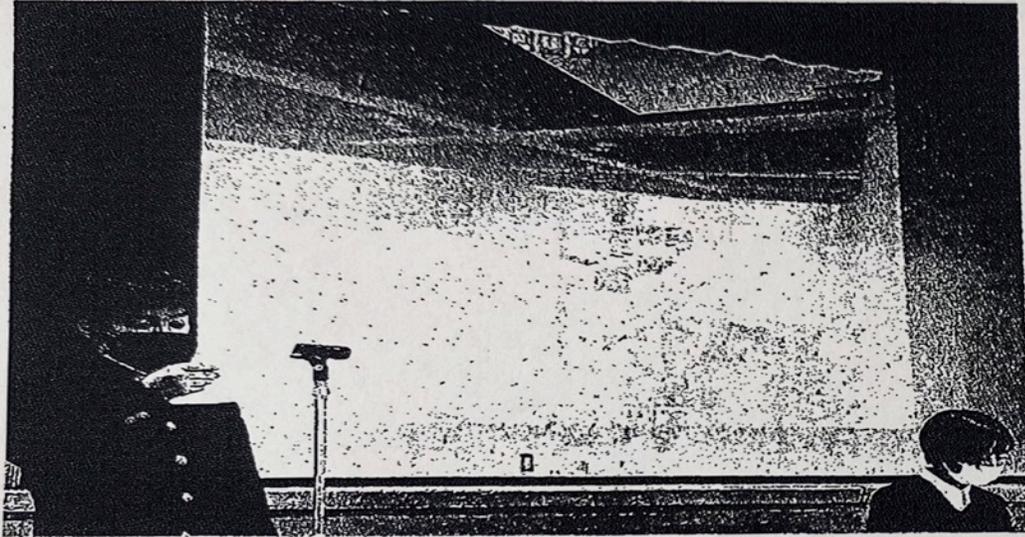


⑫教育長に発表



学年1位2位による教育長発表を実施しました。教育長の他にも指導主事や地域振興課の方々、旅行会社の方々も参加しました。さらに、報道機関としてケーブルテレビJcom、読売新聞、東京新聞などの取材を受けました。 **(★解決のために私たちができるアクション)**

中学生が考えた 仮想東大和市



自分たちの作った仮想東大和市の特徴を説明する生徒たち＝東大和市立第二中学校で

「持続可能な開発」学ぶ

優勝した川内公介君(三)のグループは、災害を意識して防災備蓄倉庫を充実させ、太陽光発電を主な電源とする町を作った。プールで使った水をろ過して生活用水に回すなどの工夫もした。川内君は「学習を始めたころはSDGsにあまり関心がなかったが、やるうちにどんどんアイデアが湧いてきた」と話した。準優勝グループの土井咲子さん(三)は「町の人全員が気持ち良く過ごせるようにするのが難しかった。想像力を働かせ、多くの人の意見を聞くのが大切だと感じた」と振り返った。真如教育長は「これからも自分たちがどんな役割を果たせるか考え、新しい未来に進んでほしい」と激励した。

東大和市立第二中学校の一年生百十五人が、持続可能なまちづくりを目指し、人気ゲーム「マイクラフト」で「仮想東大和市」を作った。SDGs(持続可能な開発)を学ぶ授業の一環で、グループごとに出来栄を競った。十九日には優勝と準優勝の二グループが同校で、真如昌美教育長に成果を発表した。

(林朋美)

一年生を受け持つ高田裕行教諭(三)が青年海外協力隊としてアフリカのベナンで暮らし、最貧国の生活の厳しさを実感した

太陽光発電 プールの水ろ過して生活に

多摩 武蔵野

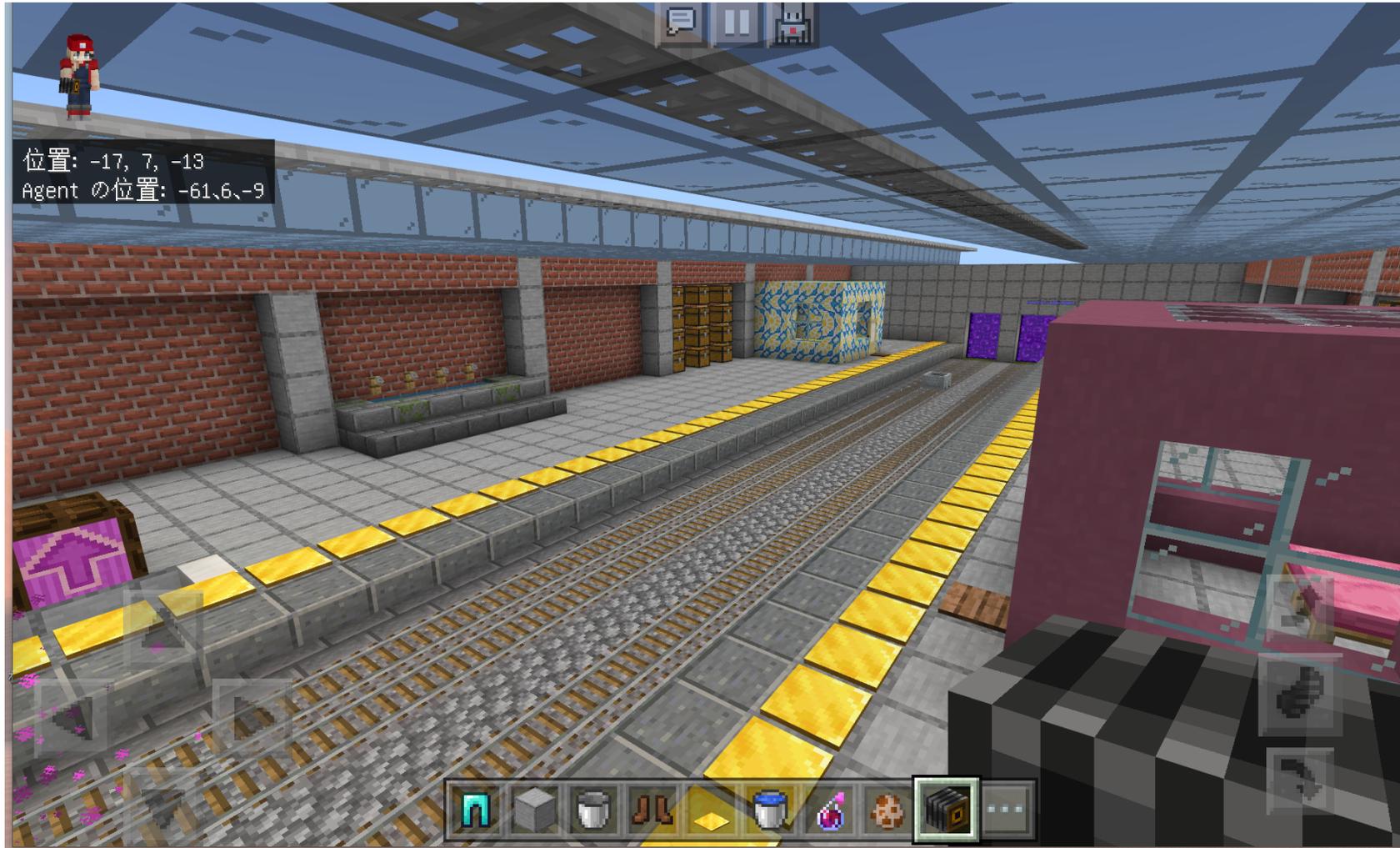
心のふるさと 祈りのお山 高尾山薬王院

都内の天気

都区部	きょう	あす
府中		
八王子		

きょうの予想 (府中)
降水確率

生徒が作成したMinecraftの世界①



3 すべての人に
健康と福祉を



住み続けら
まちづくり



東大和駅構内を制作しました。黄色のラインを踏むと音が鳴る仕組みになっています。これは人身事故防止と子どもを危険から守るためです。電車が来るとセンサーが反応し音が鳴らなくなります。SDGsの3番と11番を意識して作成しました。

生徒が作成したMinecraftの世界②



5 ジェンダー平等を
実現しよう

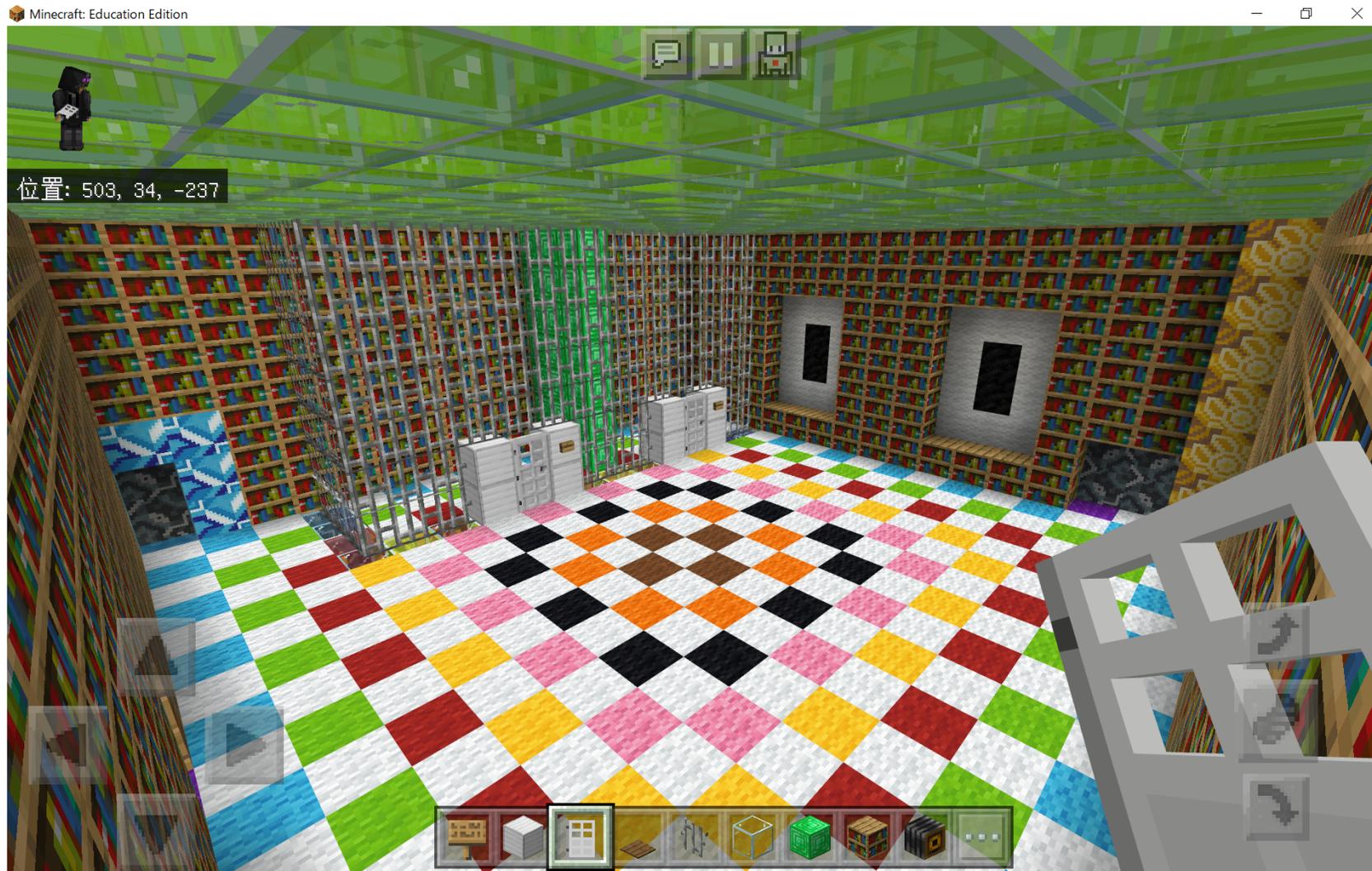


11 住み続けられる
まちづくりを



これはSDGsの5番「**ジェンダー平等**」を意識して作成しました。銭湯は基本的に男子風呂と女子風呂しかありませんが性的マイノリティの人たちも気軽に入れ、楽しめるように4つの風呂場を設けました。また個室の風呂も用意しました。

生徒が作成したMinecraftの世界③



これは未来型の学校をイメージして作りました。不登校で学校に行きたくない子、外国籍の子どもでも楽しめる英語の本など、学習する場が学校だけでなく、いろいろな場所で学習できるように学校の堅苦しい雰囲気を明るくしてみました。学び直しをしたい高齢者の方にも利用して欲しいです。

生徒が作成したMinecraftの世界④



3 すべての人に
健康と福祉を

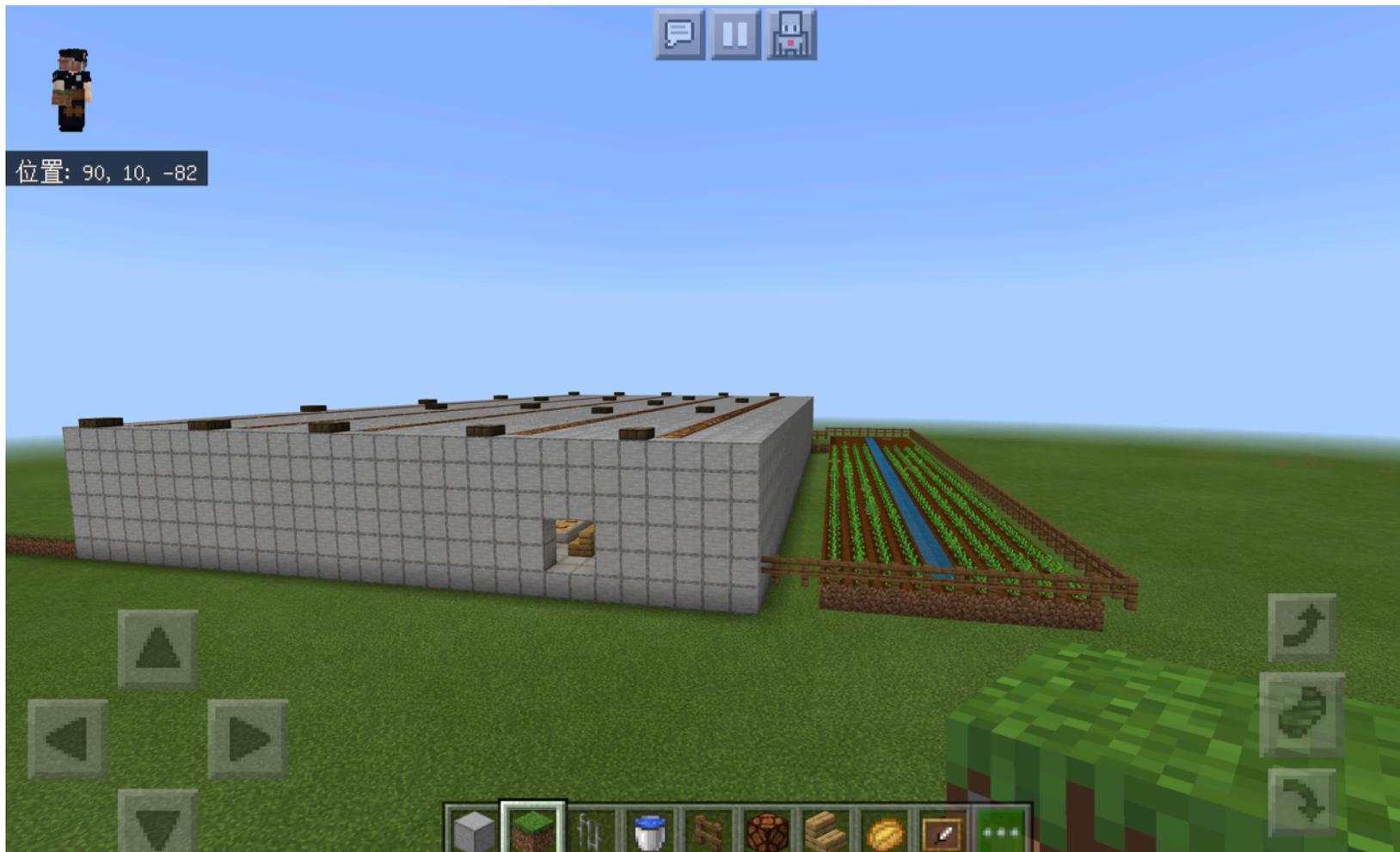


1 住み続け
まちづくり



これはロッカーです。色覚障害のある方向けに作りしました。カラーユニバーサルデザインとして、情報になるべく全ての人に正確に伝わるように利用者の視点に立ってデザインしました。文字などを使ってさらにわかりやすくしたいと思います。

生徒が作成したMinecraftのワールド④



これは貧しい家庭の子どもたちがいつでもご飯を食べられるように作った食堂です。この食堂の運営は失業してしまった方を募集することで、SDGsの1番と2番を同時に解決していくねらいです。日本にも貧困で苦しむ子どもも立ちがいます。そういった人たちを取り残さない社会への一歩として作成しました。

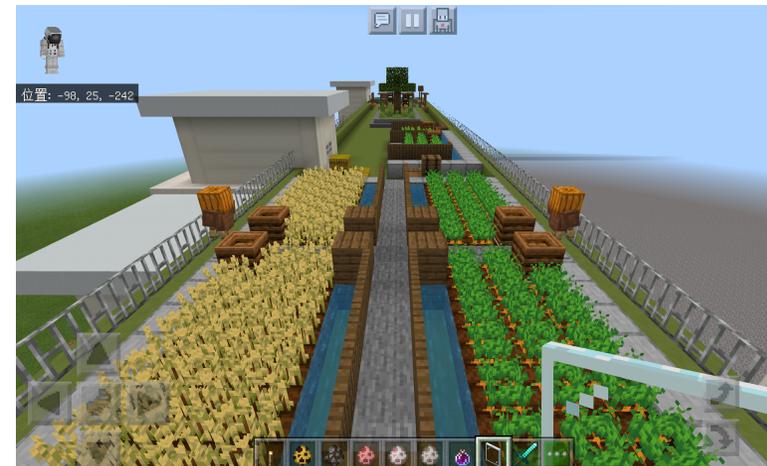
その他のワールド



誰でもトイレ



未来の東大和



屋上緑化計画



ソーラーカー



未来の学校



風力発電